

10 特別支援学級等の設置状況

(R2.5.1現在 特別支援教育課調)

小・中別 障害別	学級数 〔前年度比増減〕	児童数 生徒数	担任 教員数	学級数別学校数						
				1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	
合計	2,524 (105)	11,854	2,524	1,334	392	95	24	5	0	
学計	1,764 (80)	8,368	1,764	900	269	81	17	3	0	
知的	902 (24)	4,480	902	397	159	53	7	-	-	
肢体不自由	8 (-)	12	8	8	-	-	-	-	-	
病弱・虚弱	7 (2)	8	7	7	-	-	-	-	-	
弱視	2 (-)	4	2	2	-	-	-	-	-	
難聴	14 (1)	38	14	12	1	-	-	-	-	
言語	37 (-4)	200	37	24	5	1	-	-	-	
自閉症・情緒	794 (57)	3,626	794	450	104	27	10	3	-	
中 学 校	計	760 (25)	3,486	760	434	123	14	7	2	0
知的	402 (9)	1,964	402	210	78	6	2	2	-	
肢体不自由	- (-1)	-	-	-	-	-	-	-	-	
病弱・虚弱	3 (-)	3	3	3	-	-	-	-	-	
弱視	1 (-)	1	1	1	-	-	-	-	-	
難聴	5 (-)	7	5	5	-	-	-	-	-	
言語	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	
自閉症・情緒	349 (17)	1,511	349	215	45	8	5	-	-	

(通級指導教室) 教室数は担当教員数と巡回による指導を行っている教室数、特別支援学級で通級による指導を行っている教室数及びサテライト教室を加えた数

教室数	児童数 生徒数	担当 教員数	教室数別学校数							
			1教室	2教室	3教室	4教室	5教室	6教室	7教室	8教室
739 (97)	7,047	442	518	69	21	1	2	1	0	0

注・() 内数字、前年度比増減示。

・義務教育学校は、児童生徒合わせて1教室1担当。

- ・言語365教室
- ・情緒108教室
- ・難聴37教室
- ・弱視15教室
- ・LD. ADHD124教室
- ・肢体不自由86教室
- ・病弱 4教室

11 公立学校の施設

(1) 建物・運動場保有状況

(校(園)舎保有面積のうち、木造及び鉄骨その他造は鉄筋コンクリート造に換算した面積である。なお、危険面積は、耐力度点数が非木造5,000点(H20.4.1~4,500点)以下、木造5,500点以下の面積とする。)

保有面積・・・当該学校の建物の面積から、「借用面積」、「一時使用面積」及び「未取壊し面積」を除き、「国庫負担等未完成面積」を加えたもの

必要面積・・・国庫補助を行う上限面積であり、当該学校の学級数に応ずる面積

整備資格面積・・・必要面積から保有面積を控除した面積

危険面積・・・耐力度点数が、一定基準以下の建物の面積

ア 幼稚園

(R2.5.1現在 財務課・教育施設課調)

区分	保有面積		必要面積	整備資格面積	危険面積 (要改築面積)	
	面積	構造比率				
	m ²	%	m ²	m ²	m ²	
園	計	119,390	100	84,527	4,920	(-)
舎	木造	24,225	20	-	-	-
	鉄筋コンクリート造	68,850	58	-	-	-
	鉄骨その他造	26,315	22	-	-	-
屋外運動場	157,083	-	-	-	-	-